

# よしかわ

News from Yoshikawa City Council

# 議会だより

No.197

# 2023.5

発行：吉川市議会  
編集：吉川市議会広報委員会  
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地  
TEL.048 (982) 9421 (議会事務局 直通)  
FAX.048 (981) 5392  
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>



## 目次CONTENTS

定例会概要	2
予算	2
代表質問	4
委員会審査概要	6
討論	8
答えて市長！一般質問	10
審議結果	14

議会だよりが  
スマートフォンでも読めます

マチイロ

検 索



# 3月定例会 概要

令和5年3月定例会は、2月27日から3月24日までの26日間の開催となりました。

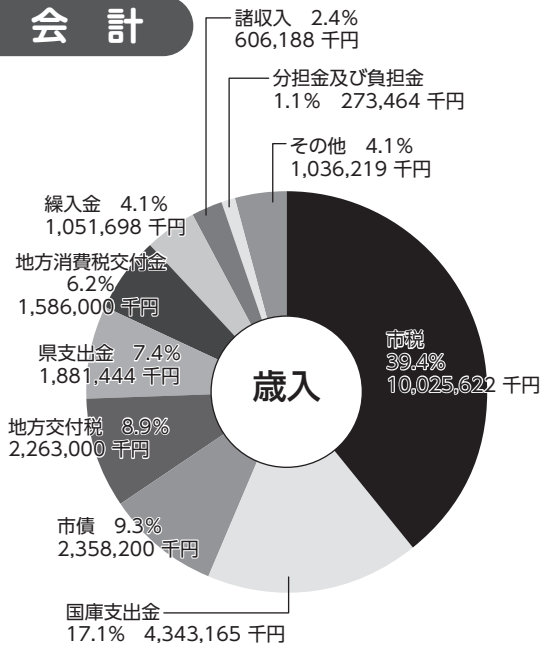
今定例会では、市長の施政方針に対し、各会派が代表質問を行いました。（代表質問の要旨は4ページから5ページ）

また、一般会計予算をはじめ、各特別・企業会計の当初予算のほか、吉川市地域公共交通協議会条例等の市長提出議案33件、議員提出議案として2件の意見書などを審議し、議決しました。

委員会での審査概要は6ページから7ページ、「市政に対する一般質問」は10ページから13ページでお伝えします。



## 会計



一般会計予算  
こんなことに使われます

◆空調整備導入事業（小中学校）  
4840万円

◆体育施設長寿命化事業  
1583万6000円

小中学校の体育館並びに総合体育館において、夏場の熱中症対策や冬の寒さに対応す

るため、空調設備の整備（設計業務委託）を進めます。災害時は避難所として有効に活用できるように、体育館の機能向上を図ります。

◆公園維持管理事業  
2億7269万6000円

アクアパークのバスケットボールコートやスケートボード施設の再整備を行います。

また、障がいの有無に関わらず、すべての子どもたちが分け隔てなく、共に遊ぶことができるインクルーシブ公園の整備検討を進めます。



◆市民交流センターおあしす  
長寿命化事業  
6億6144万3000円

吉川市公共施設長寿命化計画に基づき、市民交流センターおあしすの照明器具のLED化や空調機の入替え等、中規模改修工事を行います。

## 特別会計

会計別	予算額(千円)	前年度比(%)
国民健康保険	6,655,268	△3.5
農業集落排水事業	82,150	136.6
介護保険	4,540,600	4.3
後期高齢者医療	946,194	5.7
吉川美南駅東口周辺地区 土地区画整理事業	5,140,962	17.5
合計	17,365,174	4.9

特別会計など  
新年度予算決まる

5つの特別会計と水道事業会計、下水道事業会計の令和5年度予算は左表のとおりです。

# 令和5年度一般会計予算 254億2500万円ですスタート

主な議案のあらまし

◆吉川市地域公共交通協議会  
条例

電車やバス、タクシー等地域公共交通の活性化を図るため、吉川市地域公共交通協議会を設置するものです。協議会の委員は、鉄道・バス・タクシー事業者や学識経験者、一般の市民を含む25名以内で組織し、地域公共交通計画の作成、実施に係る協議を行います。

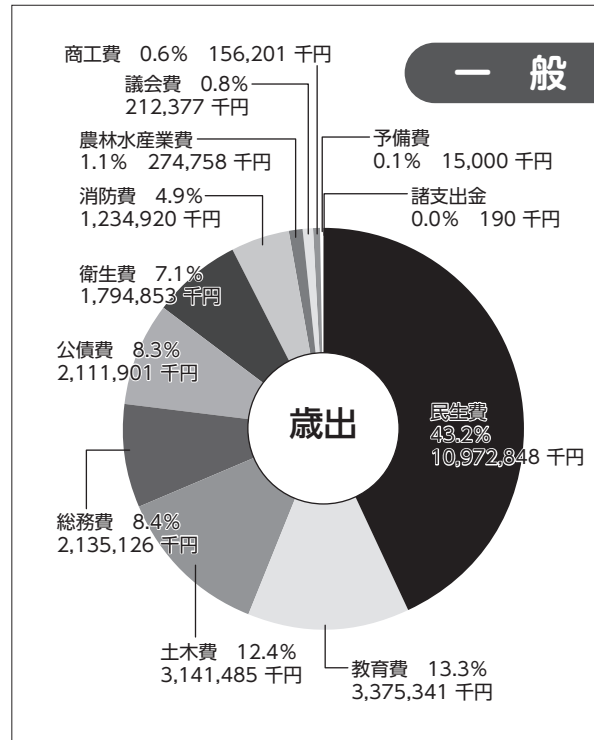
◆吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

吉川美南駅東口周辺地区地区計画の都市計画決定に伴い、計画の区域内における建築基準法による建築物の制限を定めるものです。

◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険制度の健全で安定的な財政運営を図るため、国民健康保険税の税率の改定及び賦課限度額の引き上げを行うものです。

一 般



◆老人福祉センター運営事業  
3777万1000円

老朽化している老人福祉センターの集会室において、床の張り替え工事や劣化したテーブルと椅子の買い替えを行います。テーブルを可動式のものへ変更するにあたり、畳の上での使用は不安定なため、利用者の安全と利便性を考慮して畳をフローリングに改修します。



◆母子保健事業  
9339万2000円

産後の母子に対する新たな取り組みとして保健指導や育児のサポートを行う産後ケア事業を始めます。産後1年以内の母子を対象に、医療機関への短期宿泊型、助産院等への通所型、自宅を訪問する居宅訪問型の支援を通して個別の相談・支援を行います。助産師や看護師に相談する機会を設けることで、孤立しがちな産後の子育て家庭に寄り添い、安心して子育てができるようにサポートします。

◆地域福祉推進事業  
1143万1000円

重層的支援体制整備事業の本格実施に向けた移行準備を進めており、その取り組みの1つとしてアウトリーチ\*等を通じた継続的支援事業を社会福祉協議会に委託して実施します。

複雑化・複合化した問題を抱え、自発的にサービスを求めることが困難な方を、関係機関等と連携し必要な情報の収集を行いながら発見し、問題の早期把握、必要なサービスや支援につながるよう支援します。

また、社会とのつながりが薄い方などにも継続的な訪問等で働きかける伴走的支援を行います。

※アウトリーチとは  
様々な形で、必要な方に必要なサービスと情報を届けること。



●水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額 (千円)	資本的収入及び支出*注	予算額 (千円)
水道事業収益	1,585,365	資本的収入	192,406
水道事業費用	1,567,206	資本的支出	796,493

●下水道事業会計

収益的収入及び支出	予算額 (千円)	資本的収入及び支出*注	予算額 (千円)
下水道事業収益	1,551,348	資本的収入	1,362,872
下水道事業費用	1,494,293	資本的支出	1,626,247

注：事業会計において資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

# 中原市長の施政方針に

## 会派代表者が問う

3月1日、中原市長の施政方針に対し、各会派の代表者5名が代表質問を行いました。  
主な質問と答弁の内容は次のとおりです。

### ◆市長の施政方針◆

【四つの重点テーマ】

- ▼命を守る
- ▼子どもの笑顔を未来につなぐ
- ▼誰もが輝くまちをみんなで創る
- ▼価値を高め、次世代に継承する



自由民主党吉川市議員団  
吉川 敏幸

**問** ①災害時の避難支援計画、個別避難計画を作成し、訓練を実施しては。②西日本のメディアでは、コロナワクチンの危険性やワクチン後遺症を報じている。今後もワクチン接種対象者に対し、接種券を発送するのか。③農業従事者の離農を防ぎ、次世代へ継承できる吉川市の農業にするため、生産施設投資への補助や

民間活力活用の方角性は。④市街化調整区域への移住をどう促進するのか。  
**答** ①自治会や自主防災組織などに働きかけを行い、地域における避難支援体制の構築に努める。今後、地域における減災プロジェクトで実施できればと考えている。②今後もワクチンについての効果と副反応など

について記載された説明書等を同封し、対象となる方にはこれまでどおり、接種券を送付していく。③これまでも支援事業を展開してきた。民間活力は農業パークの整備等を進める中で検討していく。④旭・三輪野江地区の魅力を高める取り組みを進めるとともに、地区住民の声を伺いながら、庁内横断的に検討を進めていく。



市民の会・無所属  
齋藤 詔治

**問** 共保雨水ポンプ場の増強工事約22億円は、費用対効果を考え再検討を。また、南中学校周辺の治水対策等も、多面的調整池で対応すべき。  
**答** 流出解析の結果を踏まえ、ポンプの増強が治水対策に有効と考える。南中学校周辺は、上第二大場川と大場川の早期改修を県に要望していく。

調整区域の既存集落地域を福祉の里とし、農福連携の受け皿、地域おこし、就労支援の場として、障がい者が親子で生活できる里づくりとすることの見解は。農業者は農機具や燃料費等の価格高騰で厳しい状況。資産運用ができるよう調整区域の見直しを。

**答** 市全体として農福連携に力を入れているが、障がい者の保護者からは一緒に住む場所の要望はほとんどなく、障がい者住居という意味で農福連携の中に加えなくても良いと考えている。青地を白地に替えていくことを、市の方針としない。また、農業者が資産運用しながら農業をするという考え方は、一切していない。農業で生計を立てていけるような形でサポートすべきと考えている。



未来会議よしかわ  
戸田 馨

**問** 「人事と組織」について。市民の要望を的確にキャッチし、市の施策に落とし込む職員的能力が求められると同時に、基礎自治体の行政課題を国県にしっかりと把握していただくチャンネルが不可欠。国県との連携についての考え方や、これまでの取組は、「連携の質」こそが極めて大事であると考えますが、市長のお考え

は。  
**答** 市民要望を的確に捉え、適切に施策展開するためには、職員能力向上、組織力強化と併せ、国県とのパイプは極めて重要。国県と連携を図る中で、これまでも多岐にわたる施策の実現や財源の確保につなげてきた。「行政」「民間や公共的団体」「政治」の3つのチャンネルをしっかりと

構築してきているが、今後もあらゆる関係機関とすべての分野において、さらに連携を深めてゆく。



日本共産党吉川市議員団  
雪田 きよみ

**問** 市の教育大綱「家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく」を、中原市政3期目を迎えるにあたり廃止していただきたい。  
**答** 多くの保護者・教育現場の先生方から賞賛・信頼をいただいている。今後も教育大綱に込めた理念が浸透し、子どもたちが人と社会に愛情と責任感を持ち、自らの力を最大限に

発揮して生きていけるよう、吉川市教育大綱の実現を目指していく。  
**問** 憲法13条は「あなたは自由に生きて良い」と保障している。貧困、虐待、ヤングケアラー、不登校などの問題がある中で一つの在り方を求める市の教育大綱は憲法13条と相いれない。  
**答** 根本的な見解の相違。

**問** 多くの市民が求める、補聴器購入費用助成制度の創設への意向は。  
**答** 現時点において、助成を行うべき状況にはない。  
**問** コロナ禍で草加保健所の窮状が新聞にも大きく報道された。吉川保健所の復活を求める声は根強い。県に対し復活を求めるべきでは。  
**答** 県に話はしてある。



公明党吉川市議員団  
小野 潔

**問** ①避難所となる小中学校の体育館と総合体育館へ空調設備の整備を進めるとあるが計画は。②5月8日から新型コロナウイルス感染症が2類から季節性インフルエンザと同じ5類に移行となり、転換点を迎えるが所見を伺う。③公明党では昨年11月「子育て応援トータルプラン」を発表。所得制限のない18歳までの児童手当の

増額・拡充、18歳までの子ども医療費の無償化、0歳〜2歳児の保育の無償化等を掲げ政府与党で議論している。制度化されると運用・運営は基礎自治体となるが見解を。④障がいがある方や関係団体と共にアート展等を開催とある。この事業を農福連携の観点から農業パーク構想のコンセプトの一部としては。⑤美南駅

東口周辺開発で、救急医療を伴う病院建設、文化施設・図書館を併設した施設の誘致の実現可能性は。  
**答** ①緊急防災・減災事業債を活用し令和6年度から整備する。②迅速かつ丁寧な対応をしてきたこれまでの経験を踏まえ対応する。③国や県からの制度は着実に進める。④検討する。⑤実現へ向け努力する。

# 委員会審査概要

## 総務水道常任委員会

◆吉川市地域公共交通協議会  
条例

地域公共交通計画を令和6年度から7年度にかけて作成することだが完了時期は。

計画は令和7年度中の作成を目指している。

賛成全員で可決

◆吉川市手数料条例の一部を  
改正する条例

キャッシュレス決済はどのような方法を想定しているか。

窓口にQRコードを掲示し、利用者がそれを読み込み金額を入力して支払ってもらうことを想定している。

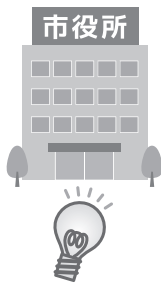
賛成全員で可決

◆一般会計予算

市庁舎での電気使用料については、100%地産地消のエネルギーとのことだが、他公共施設での取組計画は。

令和5年度は東埼玉資源環境組合との協議により、売電する業者からごみ由来の電気を市庁舎が100%供給を受ける予定。他施設への供給については今後協議に含めたいと考えているが、現段階では市庁舎が先行して供給を受けることになっている。

賛成多数で可決



◆水道事業会計予算

給水収益が減収となる要因と、今後もその状態が続くのかを伺う。

節水機器の普及や世界情勢の影響を受け、節水意識が高

まっていることで料金収入が減っているものと考ええる。昨年度決算時点で逆ザヤにはなっていない。水道事業としてはさらなる経費削減が必要と考える。

賛成全員で可決



委員会報告を行う戸田委員長

## 文教福祉常任委員会

◆吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

法定外繰入をゼロにするのが求められているが、市独自の判断で国民健康保険特別会計へ繰入する姿勢を示してはどうか。

平成30年度から段階的に県下で統一に向けて動いている最中である。県の方向性に沿って進めつつ、保険税については、基金を一部有効活用しながら激変的な変動とならないよう対応したい。また、財政強化や制度支援は必要であることから、引き続き、機会を捉えて国に訴えていく。

賛成多数で可決

◆一般会計補正予算

グループホーム設置数、入居者数、空き状況、将来的な利用見込みについて伺う。

昨年からの約1年間で、5施設から10施設となり、現在空きなし。空きが出てもすぐに入居するような状況である。

る。現在定員62人。今後も施設の増加が見込まれる。

賛成全員で可決

◆一般会計予算

スクールロイヤルの選り方について、埼玉県やさいたま市は要綱を作っており、埼玉弁護士会から推薦を受けている。市教育委員会の認識は。

現在、要綱の作成を進めており、埼玉県弁護士会越谷支部から推薦を受けることを考えている。

部活動の地域移行で、国が示したロードマップと照らし合わせて、吉川市はどこまで検討が進んでいるのか。

現在のところ、他市町との動きも含め、今後の方向性について検討を続けており、関係のスポーツ団体へのアンケート調査や、先生方の意識の確認を行ったところである。子どもの不利益にならない

いということを考えながら、進めていきたい。

**賛成多数で可決**



委員会報告を行う吉川委員長

**建設生活常任委員会**

◆一般会計補正予算

認定農業者支援対策事業費補助金について、令和4年度の事業内容は。

機械購入、施設修繕、パートの雇用賃金等に対し、市独自の補助事業を行っている。令和4年度については、延べ25件の申請があった。

**賛成全員で可決**

◆一般会計予算

令和5年度の減災プロジェクトは、栄小学校で実施すること、訓練方法はどのような考えで実施していくのか。

減災プロジェクトにおける取り組みで、地域の方々が参加する避難所運営ゲーム訓練を引き続き実施していきたいと考えている。また、資機材の組み立て訓練だけでなく、避難所の設営訓練を実践してはどうかと考えている。

第1排水区の解析調査が終わり、今後ポンプの増強を実施していくことだが、今後の計画についてはどのようなになっているのか。

第1排水区の流出解析調査については、今年度結論ができており、この結論をもって、江戸川河川事務所との程度までポンプの増強が認められるか協議を行っているところ。ポンプの規模が確定次第、ポンプの詳細設計や電気設備に関する調整が必要となる。その後、スムーズに行けば7年

程度で工事完了となると考えている。

なまずサミット開催について、どのような戦略のもと開催されるものか。

なまずを見て、食して、他の自治体の信仰などの文化を感じていただくことで市民の愛着心の醸成をはかり、「なまずの里よしかわ」を全国に発信できる機会として認知度向上に寄与するものと考えている。

**賛成多数で可決**



委員会報告を行う稲葉委員長

**一般会計補正予算  
こんなことに使われます**

しで令和4年度に実施することを決めたことに伴い、市負担金の増額分を計上するものです。

〔令和4年度吉川市一般会計補正予算(第10号)〕

歳入歳出にそれぞれ10億9844万8000円を減額し、総額は261億1112万7000円となりました。

・自立支援給付事業

3902万3000円

障害福祉サービス(共同生活援助、障害児通所支援等)の利用者増加により不足が見込まれるため増額するものです。



・児童健全育成事業

354万8000円

吉川市社会福祉協議会が設置する、子ども未来応援基金への積立てのための補助金を交付します。基金を活用し地域福祉の増進を図ります。



・土地改良施設維持事業

237万2000円

古利根堰耐震化対策工事に係る負担金について、国が令和5年度工事を前倒

# 討論

## ◆吉川市国民健康保険税率例の一部を改正する条例

吉川市国民健康保険税率例の一部を改正する条例に対し、1名の議員が討論を行いました。

## ― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団 飯島 正義

今回の国保税引き上げは、市が示した「4人家族のモデル世帯、給与収入430万円」の国保税は43万300円から45万700円へと、2万円を超える負担増です。

国保加入者の負担があまりにも重く、引き下げの要望は当市議団が毎年実施する市民アンケートで常に上位です。

平成30年、国保の広域化当初から国保税の引き上げが懸念されていました。公費1兆円が新たに必要と言われながら3400億円に抑えられてきたことや、市の一般会計繰入金をゼロにすれば加入者

負担が増えることは誰の目にも明らかです。ことごとく国保加入者に負担を強いるものになっていきます。しかも今後毎年税率を引き上げる計画です。

名古屋市では均等割の減免で、給与年収400万円の4人世帯の国保料が35万2200円。吉川市と名古屋市との保険税の差は約10万円です。

自治体の判断で負担軽減は可能です。厚労省も「それぞれの自治体の判断」と医療保険改革法の国会審議で答弁しています。住民の福祉向上のための施策を行う市の姿勢が大事であることを述べ、反対討論とします。

## ◆一般会計

一般会計予算に対し、3名の議員が討論を行いました。

## ― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ

草加保健所の復活を県に話をしていく点は評価する。

少子化が危機的とさえ言われ、子育てや教育費に多額のお金がかかることが若者が安心して子どもを産むことができないう要因の一つと言われる中、また物価高騰・子どもへの貧困等を考えたとき、今全国に広がる学校給食費の無償化、18歳までの子ども医療費無料化に背を向ける市長の姿勢はとても残念。

高齢者の社会参加を保障するための補聴器購入費用助成制度創設にも背を向けている。

国が率先して素晴らしい対策を打ち出すことはほぼない。どこかの自治体が始めた積極的な取り組みが全国に広がり、国もその成果を認めざるを得なくなり、ようやく制度化・予算化されるのがこの国の福祉の発展の姿。首長には良い制度に積極的に取り組み、その成果をもって国に働きかけ国の姿勢を変えていく、気概が必要と考える。

市長に就任した以上、市長は市民みんなの市長。あらゆる

る市民の声に真摯に耳を傾け、粛々と、誠実に地方自治の本旨である住民福祉の向上に努める市長であってほしいと心から願う。

## ― 賛成討論 ―

公明党吉川市議員団

大泉 日出男

新型コロナウイルスが、5月から2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類相当の位置づけとなる。一方で、世界情勢の影響から、燃料高騰による物価高が迫っている。同時に3・11から12年が経過した今、震災の記憶を風化させてはならないと感じている。当市における大規模災害等対策として「避難所開設運営マニュアルを、運営を担う自治会へと水平展開し、地域の減災力の向上を図ってきた」としており、当年の減災プロジェクトでは栄小を会場として行い、避難所運営におけるDX化の検討をするとしている。実効性が高いと評価する。小中学校体育館等へのエアコン設置は、令和5年度から準備を進めるとの英断を評価してい

## 未来会議よしかわ

林 美希

現下の世界情勢の中での市内経済については、プレミアム付商品券、事業者連携発展補助金、原油等価格高騰対策支援金の実施等の状況に応じた様々な支援策を展開し引き続き国の動向を踏まえ対策を講じるとして評価をする。

その他、子育て支援や法定の地域公共交通協議会での審議の開始等、いずれも市民の幸福実感に通じるため賛成とする。

中原市政3期目の1年目として成熟と発展、必要な方に効果ある支援を届ける姿勢、理念あるチャレンジが見える。生命を守るため、都市整備はこれまで重ねた検討や調査の上で地に足のついた進捗があり、公助力強化として危機管理体制を整えながら職員への対応力向上と自助・共助による災害被害を減らす減災意識の周知を地道に継続されている。

伴走型相談支援で妊娠前から出産、乳幼児育児までを支



える大枠ができた。市独自の強みをどう組み込み発展させていくかはこれから。様々な現場で支援に取り組む方々の丁寧な連携を図り、多様なニーズに応えられるよう望む。

新たな取り組みとして市街化調整区域における検討二点を注視する。「道路等の整備の仕組みづくり」は道路整備と協働・住民自治。「空き家の活用をはじめ三世帯家族同居・近居や子育て世代移住の促進に関する取り組みについての検討」は政策室所管かつ都市整備、農政、教育、子育て等々。複数の政策が関わる。これら全庁的な検討の中で、多くの市民のみならずとビジョンを共有し進められるよう期待する。

◆国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

遠藤 義法

国民健康保険制度の都道府県化は平成30年度からはじまりましたが、構造的な課題の解決はされておりません。国民健康保険は国民皆保険制度を下支えする制度です。「だれもが保険証を持つこと」「だれもが払える保険税」にすることが基本です。

そのために所得に対する保険負担の割合を、せめて協会けんぽ並みの負担に引き下げることが必要です。国庫負担の医療給付費に対する負担を定率で引き上げることなど、一層強く要求することが必要です。国の負担増を実現するためにも、市が独自に一般会計からの繰り入れや均等割の減免などを行うことで、国に実施させていくことにながります。しかし、市は法定外繰り入れの財源不足分については平成29年度からゼロ、低所得の繰り入れは令和元年度と比べて令和5年度は約45%にまで少なくなっています。

令和5年度の予算は、国保税の引き上げが決まり、さらに毎年の引き上げも示唆され

ています。資格証明書の発行は命に係わることもあり、発行すべきではありません。

◆介護保険特別会計

介護保険特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

― 反対討論 ―

日本共産党吉川市議員団

雪田 きよみ

介護保険制度はこの間ずっと非常に厳しい状況下にある。

一号被保険者の保険料の高さは、当議員団が昨年も行った市民アンケートにも多くの悲鳴が寄せられた。

厚労省は、要介護1〜2の訪問介護や通所介護の保険給付外しや2割3割負担対象拡大、ケアプランの有料化などを検討してきた。これらは見送られたが、令和9年度改定に向けて引き続き検討される見込みである。

介護保険事業所もまた、非常に厳しい経営状況下にある。

全国のヘルパーの平均年齢は54・3歳。60歳以上が39・2%。有効求人倍率は15倍を超え、いくら求めても職員の確保ができない現状である。ヘルパーは給与が低く仕事はきついので求人への応募がなく、ヘルパーの人手がないので利用ニーズがあっても対応できず、経営がさらに厳しい悪循環が続いている。

国は昨年、介護職員の給与を3%上げたが、現状は変わらない。市は危機感を持って各事業所の現状把握に努め、その結果をもって国や県と交渉し、持続可能な介護保険制度とはどうあるべきかを追求するべきと考える。

◆吉川美南駅東口周辺地区土地画整理事業特別会計

吉川美南駅東口周辺地区土地画整理事業特別会計予算に対し、1名の議員が討論を行いました。

― 反対討論 ―

市民の会・無所属

齋藤 詔治

本事業は平成29年6月に事

業認可されて、実施6年目に入ります。土地画整理事業費の総額は約179億円。そのうち、吉川市はこの事業に負担金として、約47億円の税金を支出しています。事業費の重要な収入源である保留地処分金は、これまでの実績と本年度の予算額を含め、約22億円、保留地処分面積は、約2haになります(当初保留地処分金の総額は約105億円、保留地処分総面積は約11・4ha)。約2割の保留地処分が実行されます。現在、保留地処分計画が、予定どおり進んでいないようです。これまで安い価格で保留地処分してきたこと、さらに今後人件費や資材、燃料等の価格の高騰などを考慮すると、財源確保も難しい状況と想われます。残り約9.4haの保留地処分計画を再検討し、今後土地画整理事業の推進に問題が発生しないよう、早急に事業費の見直しを必要とあります。現状に即した保留地処分価格の見直しを求め、反対討論といたします。

**土地区画整理事業の街づくりについて**



中嶋 通治

**問** 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業は令和8年度末の完了予定であるが、進捗状況と事業終了の時期は。

**答** おおむね予定どおりに進捗している、現在、地区面積の78パーセント、約46ヘクタールの範囲で工事をしている。

**問** 今後事業費の見直しや、事業計画の変更等検討しているのか。

**答** 人件費や資材価格が高騰している状況を踏まえ、事業期間や事業費の見直し作業に取り組む。

**問** 商業・業務ゾーンが大きなカギを握る、また、総合病院進出の話があるが進出について事前打ち合わせ等があったのか。

**答** 複数の事業者から相談がある。その中の1つの事業者から医療施設を含めた複合的な計画の検討を進めたいとの相談を受けている。

**問** 総合病院が本当にできるのか。

**答** 令和5年2月10日の埼玉県医療審議会を経て10医療機関819床が採択された。この中に224床の病院を開設する医療機関も含まれている。

# 答えて市長！ 一般質問

今定例会では、3月17日(金)、20日(月)、24日(金)の3日間にわたり15名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



**若年がん患者終末期医療  
在宅療養生活支援の実施を**



五十嵐 恵千子

**問** 20歳～39歳までの若年者で末期がんと診断された患者の中には、幼子・家族と共に余命を自宅で療養したいと希望しても、制度の狭間で介護保険制度等が使えず、心労・経済的負担が大きいと伺っている。当該支援事業の実施を。

**答** 制度の狭間で苦しんでいる方々に手を差し伸べたいと思うが、制度の根幹に係る部分は国と県であり、市はその上で制度設計を考えなくてはならない。国・県の動向を注視して行く。

**◆さらなる経済対策の拡充を**

**問** エネルギー価格・原材料高騰により家計や事業者は苦しさが増している。①当市の支援金・補助金実施の評価。②なまざサミットや産業フェアに若者市民の参加を。③当市において市内中小企業等が受注できる機会増の取組みを。④事業者へ融資等のフォローアップ支援実施を。

**答** ①事業者連携発展補助金は、地域課題解決や地域活性化に繋がった。原油等価格高騰対策支援金は、全体で425件、総額3,430万円を交付。②ご提案を参考に検討。③事業者の受注機会確保に努めている。④事業者へ寄り添い対応する。

**中学生ヘルメット選定自由  
4月～全年齢着用努力義務**



降旗 聡

**問** 4月1日の改正道路交通法施行により、自転車に乗る人のヘルメット着用努力義務が全年齢に拡大される。中学校生徒の指定ヘルメットからヘルメット選定の自由化について。

**答** 市内全ての中学校に確認したところ、登下校時に自転車を利用する生徒が着用するヘルメットについて、色やデザインを指定している学校はなく、一般財団法人製品安全協会が定める安全基準（SGマーク）を満たしたものであれば、使用を認めているとのこと。

**問** 中学生のヘルメットは指定ではないということか。

**答** 入学時に、このような店でこのようなものを売っているといった案内はするが、必ずしもそれであればダメといったことではない。

**問** SGマークが付いている物であれば、選定は自由か。

**答** 指定はしていないので、そういうことになる。制服にどのようなヘルメットが合うのかということもあるが、放課後などにも着用することになるので、どのようなシーンにも合うようなヘルメットを選ばれたらいい。

### 吉川市のPRについて

稲葉 剛治



**問** 吉川に長年住んでいる方、引っ越してきた方、どちらも自分の住んでいる地域、活動範囲外についてはあまりよく知らないという声を多くいただいている。この街に暮らす方々が自分の生活圏、よく知るエリア以外の吉川を知っていただくことでよりこの街を好きになり、その思いはこの吉川をさらに魅力的な街に押し上げる原動力になると考える。吉川市の特色や特徴ある地域以外のもの、例えば市内の街並みや、日常の風景を市民の方々に知ってもらえるようなPRを行ってほしいと考えるが見解を伺う。

**答** 市役所や市民、団体や企業などと連携し、街の魅力を再確認し、発掘しながら、まずは市内への情報発信を重視し、その上で市外への戦略的な取り組みが必要。映画やテレビドラマ、CMなどに活用できる市内候補地を市民の皆様から募集、3D 動画による市内景観や施設などの紹介PRに着手している。今後も協働による視点も加えながら、市の魅力を市内外へ発信していきたい。

### 自主財源確保について

大泉 日出男



**問** 直近の市政への市民の声を確認すると、比較的共通していることは、公園の環境不備や運営に関する不満が多い。整備が必要な箇所は何か所か。作業工程の見通しは。

**答** 約50カ所、見通しを示すのは難しい。

**問** パークPFI（公募設置管理制度）の検討と民間資金の活用について、導入の課題や効果は。

**答** 管理者の負担を軽減できる効果がある一方、場所が狭くなる、民間事業者が持続可能かどうかの判断が課題である。

#### ◆ネーミングライツ(命名権)の導入について

**問** 近年では地域民間企業との連携による財源確保が注目されており、その対価を得て施設維持管理やサービス向上を図っている。当市でも何回か会議を実施しているが、方向性や見込み、課題は何か。

**答** 第5次行財政改革プランにて協議しているが、課題としては民間企業が魅力を感じていないことがある。地域との愛着等の課題を丁寧に整理しながら検討をしたい。

### 小学生の通学路変更手続き

菊名 克典



**問** 教育委員会が把握している通学路の変更希望7件の詳細は。また、保護者からの要望で実際に変更に至ったことはあるのか。

**答** 通学路については、近隣住民からの指摘を受けて変更した1件と、少し遠回りなので別のルートにしてほしいという保護者の要望で変更したものが1件ある。なお、危険なため変更してほしいという5件は変更されなかった。

通学路は余程のことがない限り変更することはないが、交通量の変化等で別のルートの方が安全を確保できる場合は、変更することも十分あり得る。

#### ◆部活動の地域移行について

**問** 地域移行をした際に全ての部活を残す方向で検討しているのか。

**答** 指導者の確保が難しくなってくると考えられるので、確保状況によっては全ての部活を存続させていくことは難しいのではないかと考える。

### 美術作品の寄附・寄贈・公開についてどう考えるか

成本 直寛



**問** 文化芸術の振興に伴い、美術作品（絵画・書・彫刻・工芸品等）の寄附・寄贈が増える可能性があるが、当市における寄附・寄贈に関する規程や要綱はあるか。また、現在、市に寄附・寄贈された作品の点数、展示場所、保存場所について伺う。

**答** 当市においては寄附・寄贈に関する規程はない。受け入れに当たっては、作品の大きさ・種類・展示場所・市に縁があるか等を総合的に勘案して判断している。これまでに69点の作品を寄贈いただき、51点を市内公共施設で展示、18点を施設倉庫等で保管している。

**問** 盛岡市では市のホームページにインターネット美術館を設置し、市が所蔵している美術作品をネット上で展示・公開している。当市ではこのような取り組みの計画はあるか。

**答** インターネットを活用すれば、いつでも、だれでも作品を鑑賞できる状況になり、大変有効であると思っている。他市の例を参考に今後研究していく。文化芸術に触れる機会を増やしていき、魅力ある鑑賞機会の充実に努めていく。

**避難所対策の強化を****雪田 きよみ**

**問** 1995年の阪神淡路大震災での災害関連死者数は約5千人。避難所生活の厳しさが原因の事例が多い。2016年の熊本地震では災害関連死者数が直接死の4倍に上り、避難所環境の改善が求められている。段ボールベッドが重要視されている。市は今年2月17日現在段ボールベッド38、簡易ベッド745個を備蓄。2019年10月の台風19号での市内の避難者は約800人。さらに大きな災害の際、対応は可能か。

**答** 令和2年度にコロナ対策臨時交付金を活用し、745台の簡易ベッド等を購入。世帯ごとにパーティションに区切られた中で過ごすことを基本に、1世帯に1台のベッドを配布する。さらに大きな災害時には、高齢者など要配慮者に優先的にベッドを配布する。長期化した場合には国や県等の関係機関や、災害時応援協定を締結する様々な民間企業等から調達に努める。

**問** 段ボールベッドは安価で大量生産が可能。原材料は古紙。暖かく、私物や支援物資の整理にも使える。市でも整備してほしい。

**答** 段ボールベッドは国も運送業者や引っ越し業者と提携。国に要請すれば速やかに届く。

**令和5年度のコロナ対策とアフターコロナ****稲垣 茂行**

**問** 市内感染状況は。

**答** 正確な陽性者数は不明だが、県が発表した参考値では、令和5年2月の市内新規感染者数は216人と減少傾向にある。

**問** 令和5年度ワクチン接種計画の具体的内容。対象者・時期・方法等について。

**答** 現行の特例臨時接種を維持し、5月から8月に高齢者・基礎疾患のある方及び医療従事者等、重症化リスクの高い方に接種。9月から12月は全世代を対象に行う。これまで同様、医師会との連携のもと集団接種を中心に実施・予約体制を整え対象者へ接種券を発送し、希望者が円滑に受けられるよう準備していく。会場は、中央公民館と保健センターを予定。

**問** 今後の感染対策とアフターコロナは。

**答** 3月13日以降、マスク着用は個人の判断とされたことを踏まえ、原則として来庁者へのマスク着用は求めず、職員も任意とする。ただし、コロナ感染症が2類相当であることから、職員は窓口対応時や公立保育所など子どもと直接的な接触がある場所では着用とする。5類へ引き下げ後は、見直しも。

**用排水路整備事業の整備計画の提示を****飯島 正義**

**問** ①令和3年6月の一般質問の答弁では「しんきぼりの整備の優先は7つの自治会と農事組合長で決めている」と述べています。その後の計画を伺います。②昭和55年～令和4年までの用排水路等の請願件数と処理状況をみると、整備完了は一つもありません。緊急を要する箇所、新年度以降の計画について伺います。

**答** ①「優先整備箇所480mのうち、令和4年度末までに367m。令和5年度末までに427mの整備完了に向けて進めています。残りの箇所は、地域の方と相談しながら決定していきます。②今年度はしんきぼりと下八間堀の改修。修繕と補修の工事を2箇所。用排水路の維持管理の修繕として3箇所を早急に実施していきます。

**◆公共施設のバリアフリー対応を**

**問** 市役所の多目的トイレは車いす対応、オストメイト対応の他ベッドも設置されています。おあしす内トイレにもベッドの設置を求めます。

**答** おあしすの多目的トイレは、スペースの確保と設置場所の検討が必要になるため、利用者ニーズの把握に努めていきます。

**ヤングケアラーの早期実態調査と支援策の構築を****吉川 敏幸**

**問** ヤングケアラーに関して、欠席・遅刻など学校生活に大きな影響を受けているという結果が出ている。早急に実態調査と支援策を構築すべきと考えるが見解は。

**答** 県内25団体がすでに調査を終えている。それらを参考にしながら、できるだけ早く実施できるよう努めてまいります。

**問** 国では、今年度から実態調査や研修等を実施する自治体に対して財政支援を行うヤングケアラー支援体制強化事業を始めており、令和5年度の国負担は1/2から2/3に拡充している。活用する考えは。

**答** 新年度の予算で実態調査や研修等の予算は計上してないが、今後、この辺の動きを進めていくので、活用できる財源があるのであれば、最大限活用してまいります。

**問** ヤングケアラーの6割は誰にも相談していない。制度や情報に触れる機会を増やすことや声を上げやすい環境の整備が必要なのは。

**答** 子どもたちに必要な情報を届け、声をあげやすい環境の整備をしていく。同時に、地域の方々に認識を高めてもらう情報提供に努める。

### 防犯カメラ吉川駅や公園に 設置ガイドラインを明確に

伊藤 正勝



**問** 多発する犯罪、事故を監視する防犯カメラは設置の動きや要望が全国的に高まっている。吉川の実状を伺う。

**答** 市庁舎に17台、第二保育所や吉川中学校等公共施設に合計88台を配置。その他、街頭防犯カメラを警察と協議の上、吉川駅北口に3台、南口に2台、吉川美南駅西口に3台。その他、公園には合計13台を設置している。

**問** プライバシーの関係もあり、設置場所や撮影範囲、データの利用、保管や廃棄の基準、責任者の明示や住民周知の必要もあると思う。

**答** 市の設置については「防犯カメラの設置と運用の規則」や「個人情報保護条例」に沿っている。駅や公園は「街頭防犯カメラ設置の基本方針」を定めている。

**問** 公共の施設だけでなく準公共ともいえる駅や道路。スーパーやコンビニ等民間の施設や集合住宅等での設置についても一定のガイドラインが必要ではないか。

**答** 企業や個人の動向については把握をしていない。民間はそれぞれ関係法令を守り所有者の責任の下で配置されると考えている。

### 総合病院開設を 吉川美南駅東口開発地に

遠藤 義法



**問** 埼玉県はコロナ禍で病床数が不足したとして、増床計画を明らかにして公募した。医療法人が吉川美南駅東口開発地の商業ゾーンへ224床の病院を開設と応募し、認められた。2025年度末までに病院を開設することが条件。今後の市の対応を伺う。

**答** 病院を含めた区画整理地全体の活用案がデベロッパーから提出されたときに全体像を判断しないと市としてジャッジできない。(市長)  
令和5年度中に優先交渉順位者を決められるよう取り組みを進めていく。(担当部長)

### ◆川藤地域の通学路安全策を

**問** 川藤の武輝神社前は通学路となっているが、道路が狭いため歩道の確保が難しい状況。これまで市は、歩道の両側へのポール設置などを実施した。しかし、危険性は解消されていない。対策を伺う。

**答** ハンプやポールの設置は、近隣への騒音や沿線住宅からの出入りに支障をきたす可能性があることから慎重に検討する。その他、さらなる安全策を検討したい。

### 災害から市民の生命を守る

林 美希



**問** 平成28年度に第1回、令和5年度に第8回開催となる減災プロジェクト。減災プロジェクト実施により見えた課題は。それら課題を減災関連政策にどのように反映してきたか。

**答** ペット同行避難、水害に備え感染症対策用物資保管場所を避難所内上層階に確保。避難所開設として各避難所に運営マニュアル整備、施設開設に必要な鍵を保管するキーボックス設置、開設初動時スターキットの配備など改善を図ってきた。前回の減災プロジェクトにおいては避難者の受け入れに時間を要し、受付が大変混雑するなど新たな課題が見えた。受付業務の簡略化やDX化などについて今後検討する。

**問** 避難所運営マニュアルの周知、避難所単位での訓練実施の呼びかけはどの団体にどのように行ってきたか。

**答** 自治会に対し令和4年度5月意向調査を行い避難所ごとに運営を担う自治会を定め、10月にはマニュアルに関する説明会を開催した。個別で訓練を実施する場合には、可能な限り支援していく。

### 人・農地プランの 進捗状況と地域計画について

岩崎 小百合



**問** 「人・農地プラン」とは、地域で人と農地に関する課題を話し合い、将来の地域農業の方向性を明確にして展望をまとめた計画の事。「人・農地プラン」は令和5年4月より「地域計画」へ変更となり、10年後の地域の農地利用を示した目標地図の作成に取り組む事になる。令和3年に策定された旭地区の「人・農地プラン」では農業者の高齢化や後継者の減少が地域の課題として顕著になっている。また、地域の大部分を耕作している受託者が中心となり、「農地の集積・集約化に向けて継続的な話し合いが必要である」とまとめている。三輪野江地区、及び吉川地区の「人・農地プラン」の実質化の進捗状況は。また地域計画のスケジュールについて伺う。

**答** 三輪野江地区及び吉川地区ともに第1段階のアンケートの実施と第2段階の地図化による地域農業の現状把握は終了。第3段階の話し合いは三輪野江地区は2回開催、来年度3回目を行う。吉川地区は令和6年度から取り組む予定。今後「地域計画」では国が示す手順に従い計画作成に必要な手続きを行う。

## 3月定例会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)  
◎=議案提出者、—=退席、除=除斥

	議決結果	自由民主党					市民の会				未来会議			共産			公明		無	無
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛
<b>〈市長提出議案〉</b>																				
吉川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市介護福祉総合条例及び吉川市子ども発達センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市地域公共交通協議会条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
吉川市手数料条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和5年度吉川市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
令和5年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度吉川市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○


	議決結果	自由民主党					市民の会			未来会議			共産		公明		無	無			
		赤出川 義夫	吉川 敏幸	菊名 克典	中嶋 通治	松崎 誠	岩崎 小百合	稲垣 茂行	伊藤 正勝	齋藤 詔治	稲葉 剛治	戸田 馨	林 美希	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 さよみ	小野 潔	五十嵐 恵千子	大泉 日出男	成本 直寛	降旗 聡
令和5年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	
令和5年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度吉川市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度吉川市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吉川市印鑑条例及び吉川市手数料条例の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
訴えの提起について	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和4年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度吉川市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
《議員提出議案》																					
マイナンバーカードの普及率を地方交付税に反映させないよう求める意見書	否決	×	×	×	×	議	○	○	×	○	×	×	×	◎	○	○	×	×	×	×	○
病院積立金の国庫納付のための法改正を行わないことを求める意見書	否決	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	×	×	×	×	

## 1月臨時会審議結果一覧

○=賛成、×=反対、議=議長(議決に加わりません)  
◎=議案提出者、—=退席、除=除斥

《市長提出議案》																				
専決処分事項の承認について	承認	○	○	/	○	議	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度吉川市一般会計補正予算(第9号)	可決	○	○	/	○	議	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*会派名の「自由民主党」は「自由民主党吉川市議員団」、「市民の会」は「市民の会・無所属」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」の略です。「無」は会派に属さないものです。



吉川市議会

検索

### ホームページ、ぜひご利用ください!

市のホームページでは、意見書の全文や本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。ぜひ、ご利用ください。

## 次定例会の予定 市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
本会議は10時、委員会は9時30分に開会します。本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。					<b>6月2日</b> 本会議 (閉会日)	<b>6月3日</b> 休会日
<b>6月4日</b> 休会日	<b>6月5日</b> 休会日 (議案調査日)	<b>6月6日</b> 本会議 (議案審議)	<b>6月7日</b> 委員会 (総務水道・文教福祉)	<b>6月8日</b> 委員会 (建設生活)	<b>6月9日</b> 委員会 (請願審査)	<b>6月10日</b> 休会日
<b>6月11日</b> 休会日	<b>6月12日</b> 休会日	<b>6月13日</b> 本会議 (委員長報告)	<b>6月14日</b> 本会議 (一般質問)	<b>6月15日</b> 本会議 (一般質問)	<b>6月16日</b> 本会議 (一般質問・閉会日)	

**傍聴時のお願い**

- 静粛にすること ● 議場での言論に対し、拍手等により可否を表明するような行為を行わないこと
- 騒ぎ立てる等議事を妨害しないこと ● 携帯電話等の電子機器の電源を切ること ● 係員の指示に従うこと



「よしかわ議会だより」の音声版を「朗読サークルきんもくせい」の協力で作成しています。  
ご希望の方は、議会事務局へご連絡ください。

編集後記

感染症法上の分類が、五月には5類相当に引き下げられる予定となる中で、三月議会が終了しました。まだまだ油断はできませんが、マスクの扱いも個人の判断にと、少しずつ新しい段階へ変わりつつある時かと思われ  
ます。肌を感じる季節感も寒暖の差が著しく、何とも言えない、これがまさに「春」の前兆かとも感じます。

三月と言えば、十二年前に東日本大震災が発生。当時私は都内国道を走行中でした。揺れの大きさに異常を察し側道に緊急停止し一時待機。次の瞬間、道路沿いの商店のガラスが連続して割れ始めた事を思い出します。震災の記憶を風化させてはならない、という心構えで常日頃から啓発活動に取り組んでいきたいと思っています。

大泉 日出男

表紙の写真

吉川で花の栽培が本格的に始まったのは戦後です。三輪野江地区中島を中心に、水田や畑を転用して花農家が広がりました。最盛期には、10数種の花が栽培されていましたが、最も多く作られていたのが「花菖蒲」です。花菖蒲は、端午の節句前の一時期に需要が集中するため、この時期に合わせて生育し出荷する手間のかかる仕事です。

花と葉が美しいと言われる吉川の花菖蒲ですが、現在の栽培農家は1軒となりました。



栄町在住 鈴木 弘温 氏 撮影(中井沼公園の花菖蒲)